

日本都市学会第58回大会開催のお知らせ

1. 日時 2011年11月4日(金)・5日(土)・6日(日)
2. 場所 コラッセふくしま(福島市)
3. 主催 日本都市学会・東北都市学会
共催 福島市(予定)
4. 大会テーマ 震災と持続可能な都市づくり
5. プログラム
11月4日(金) 午後 エクスカーション(13:30~16:30) 福島駅周辺のまちづくり
こらっせ→西口・東口再開発地区→福島駅東口駅前周辺地区
再開発ビル→まちづくりセンター
11月5日(土) 午前 研究発表Ⅰ、本部企画セッション
午後 日本都市学会賞授賞式
基調講演・シンポジウム
日本都市学会総会
夕方 懇親会
11月6日(日) 午前 研究発表Ⅱ
大会プログラムの詳細は、10月に学会員へ発送する予定です。

6. 研究発表の募集

- (1) 研究発表は同封のはがきまたは電子メールで申し込んでください。**9月7日必着**とします。
学会員以外の方は、官製はがきまたはFAXで、日本都市学会事務局まで申し込んでください。記載事項は、①所属・氏名、②研究発表のテーマ、③自宅住所・電話・FAX番号、④所属先住所・電話・FAX番号とします。
- (2) 発表要旨は次の要領で作成してください。
 - ① 用紙は、A4サイズ、縦長、横書きで2枚以内。
 - ② 余白は、上下25mm、左右19~20mmとし、文字数は、横23字×縦45行、2段組、段間0.9~10mm、2,070字/頁。文字は10ポイント、明朝体。見出しはゴシック。
 - ③ 1頁目の上部7行分は1段組とし、タイトル、所属、氏名に使用します。2行目にタイトル(14ポイント、ゴシック、中央揃え)、6行目に所属・氏名(10ポイント、ゴシック、右揃え)、本文は8行目から2段組で。(年報掲載論文と同じスタイル)
 - ④ そのまま印刷原稿としますので、図表は見やすく貼り付けてください。図のタイトルは図の下部に、表のタイトルは表の上部に、それぞれゴシック、中央揃え。
 - ⑤ 詳細は大会担当の東北都市学会事務局へお問い合わせください。
 - ⑥ 要旨の提出期限は10月7日必着(メール送信可)。送り先は東北都市学会事務局(下記)。

7. 出欠確認はがき

研究発表しない方も、同封のはがき/メールに出席の可否(予定)を記載して返送してください。

8. 問い合わせ先・発表要旨送付先

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30 福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科
松本研究室気付 TEL 0246-46-0850 <E-mail>matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp

日本都市学会 2011 年度大会:「震災と持続可能な都市づくり」

日本都市学会会長 戸所 隆

東北都市学会会長 日野正輝

2011年3月11日に発生した未曾有の東日本大震災に対して、多くの識者は人知の限界を認めてきた。同時に、震災は、国民に、生活様式および地域の在り方を、短期的な効率性よりも永続的安全性などの基本に立ち返って再考することを求めていると言える。

被害状況の科学的検証は進みつつあり、これまでの防災対策の問題点・限界が明らかにされるとともに、様々な復旧・復興策が具体的に提案されてきている。しかし、被災地域の復興には、被災地の防災インフラおよび生活の再建の問題に限らず、国および地域の将来を見据えた上で社会経済生活の拠点となる都市づくりの検討が求められる。そのためには、将来予測と制約条件とを対照しながら、地域のガバナンス、コミュニティ、空間整備、経済などを再構築し、それを持続可能なものにする仕組みづくりが必要になる。そして、地域社会を構成する諸要素とその連関からなる地域の全体像を描写し、住民が地域の将来像を描く際の考え方、観点、材料を供することが期待される。

この課題に応えるためには、多くの学問および実務分野の人達が、それぞれの専門領域に係る問題を検討する一方で、相互に交流して意見交換することが必要である。その点で、学際的組織であると同時に、地方自治体と連携し、都市・地域の問題に取り組んできた日本都市学会には、この課題に取り組む使命がある。

当学会は、これまでも災害をテーマにした大会を3回開催している。1983年「都市と災害」、1995年「都市の文化と災害」、2002年「都市と危機管理」である。それぞれ長崎大水害、阪神淡路大震災、東海豪雨に対応したものであった。被災地の復興の課題は地域により、また時代あるいは社会状況によって違っている。その意味では、地域性を踏まえた議論が期待される。同時に、テーマに掲げた「持続可能な都市づくり」は被災地に限られた問題ではなく、縮小社会あるいはポスト成長社会と呼ばれるようになった日本の都市全体に通ずる課題であり、そのモデル構築は一般性を有している。

この大会が全国から多くの参加者を得て、活発な議論とアイデアの提供の場となり、「次世代の人達も安全・安心に、そして豊かに生活できる」持続可能な都市の在り方を見出す機会になることを期待します。

福島駅周辺のホテルのご案内

東日本大震災により例年に比べて、部屋の確保は難しい可能性がありますので、お早めの予約をお願いします。以下は駅または県庁周辺のホテル（一部）です。

東横イン福島駅西口 福島県福島市三河南町 4-4

東横イン福島駅東口Ⅰ 福島県福島市栄町 2-12

東横イン福島駅東口Ⅱ 福島県福島市栄町 2-14

ホテルメッツ福島 福島県福島市栄町 1-1

福島ビューホテル 福島県福島市太田町 13-73

ホテルサンルートプラザ福島 福島県福島市大町 7-11

ホテルサンルート福島 福島県福島市中町 2-6

福島リッチホテル 福島県福島市栄町 2-36

グリーンホテル福島館 福島県福島市栄町 6-4

グランパークホテル エクセル福島恵比寿 福島県福島市曾根田町 10-6

ホテル辰巳屋 福島県福島市栄町 5-1